

郡山市 医療的ケア児と 保護者向け

災害時対応ガイドブック

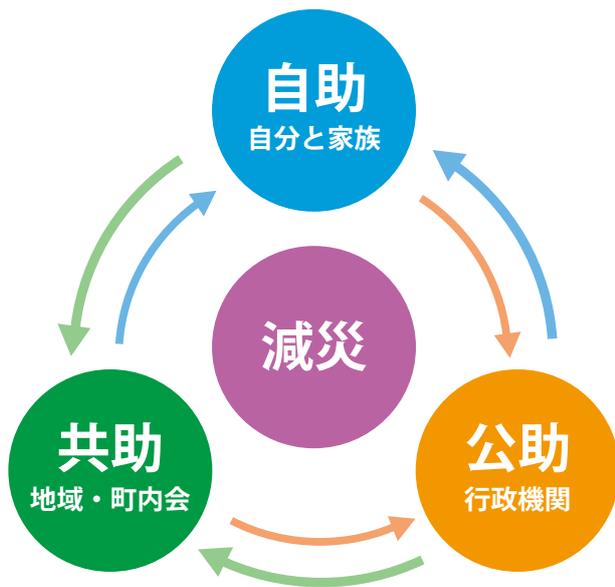


はじめに

災害は、いつ、どこで、どんなふうにかかるか分かりません。医療的ケアを必要とする方は様々な機器を使用しており、長時間の停電や断水は生命の危機に直結しかねません。そこで重要になってくるのが「自助」の力です。「共助」や「公助」を受けられるまでに時間がかかってしまうことが考えられますので、いざという時にまずはご家族で「自助」の力が発揮できるように、ぜひこの機会に考えてみましょう。

自助・共助・公助の輪

災害による被害を未然に、または最小限に防ぐためには、自助・共助・公助の連携が大切です。



「自助」 は自分と家族の安全を自分達で守ることであり、防災の基本となります。特に災害時には、迅速な避難行動を取り、自分と家族の安全を確保し、次の共助に繋げましょう。

「共助」 は地域住民が手を取り合い、助け合うことです。一人では小さな力でも、みんなが集まれば大きな力になります。

「公助」 は国・県・市や消防・警察・自衛隊といった行政機関などの防災に関する活動です。

自助・共助・公助の連携が安全で安心なまちをつくれます。

〈災害に備え大切なこと〉

1. 平時より、関係機関や家族で災害時の対応を話し合う。
2. 個別避難計画を作成する。(支援者、避難所、避難ルート、備蓄品、持出物品等)
3. 非常持ち出し袋と備蓄品を準備しておく。
4. 定期的に、自宅で災害を想定して動いてみる。

目 次

I 災害への備え …………… P1	IV 電源確保について …………… P11
1) 自宅付近で想定される災害を確認する	1) 停電時の電源確保
2) 防災情報の確認、避難の見極め	2) 医療機器以外の電源
3) 別冊:災害時緊急対応シートを作成する	3) 緊急時に電源を確保する方法を考慮しておく
4) 災害時の協力者を確保する	(1) 外部バッテリー
5) 避難場所・避難経路を確認する	(2) UPS (無停電装置)
6) 災害発生時の判断について	(3) 蓄電池
7) 避難時:主治医がいる病院で受入れが 困難な場合のフロー	(4) 車から電源をとる
8) 室内の環境を整える	(5) 自家用発電機
9) 緊急時の連絡先を確認しておく	V 非常用電源等購入費の助成について … P14
II 医療的ケア児に必要な備え …………… P7	VI 参考資料 …………… P15
1) 人工呼吸器	
2) たんの吸引	
3) 酸素療法	
4) 経管栄養	
5) 非常用持出品の準備など	
III 停電時の対応について …………… P10	
1) 停電時の対応を確認しておく	
2) 停電について	

I 災害への備え

1) 2) 4) 5) の内容は、『わが家の防災ハンドブック』に掲載されています。

一般的な防災に関する情報が得られますので、参考にしてください。

郡山市ウェブサイト

URL <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/5/7429.html>



1) 自宅付近で想定される災害を確認する

洪水ハザードマップ、内水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップで自宅の状況を確認しましょう。

各種ハザードマップ一覧

郡山市ウェブサイト

URL <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/5/24999.html>



自宅周辺は

○浸水想定区域に入っているか。入っている場合は浸水深何メートルか。

○土砂災害区域に入っているか。入っている場合は、土砂災害特別警戒区域（赤色）か、土砂災害警戒区域（黄色）か。

どのような災害が想定されるのかを確認し、対策をたてておきましょう。

2) 防災情報の確認、避難の見極め

災害時には、避難するタイミングを見極めることが重要です。医療的ケアを必要とする方にとって、自宅を出て避難することは決して容易なことではありません。各種メディアで防災情報を十分に把握し、避難したほうが良い状況かどうかを判断しましょう。

※災害情報の収集先について

・防災ウェブサイト：防災専用のウェブサイトです。

パソコン用 URL <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/>

スマートフォン、携帯電話用 URL <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/sp/>



・メールマガジン：防災ウェブサイト内の「防災メールマガジン」から登録いただくことができます。

パソコン用 URL <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/contact2>

スマートフォン、携帯電話用 URL <https://bousai.koriyama-fukushima.jp/sp/mag/>



・テレビ：NHKのデータ放送で確認できます。リモコンの「dボタン」を押すとL字画面に切り替わります。

・緊急速報メール：各種携帯電話に送信されます。

・VACAN：各避難所の位置や開設状況、リアルタイムの混雑状況を確認できます。



・防災行政無線：

市内の小中学校や公民館、公園などに設置した屋外スピーカーから放送を流します。

・SNS：フェイスブックやエックス（ツイッター）に登録されている方が、「いいね！」や「フォロー」していただくことで利用できます。「防災こおりやま」で検索してください。



フェイスブック



エックス
(ツイッター)

・電話ガイダンス：災害情報を新着順に電話でお知らせします。

災害情報専門電話 ☎0120-131-963（フリーダイヤル）

・コミュニティFM放送：「郡山コミュニティ放送（ココラジ）」から放送します。

※番組放送中でも強制割込みで災害情報をお知らせします。

周波数・・・FM79.1MHz

・スマ保 災害時ナビ：災害に役立つスマートフォン用アプリです。

※スマートフォンのGPS機能を使って現在地情報を取得し周辺の避難場所等が表示されます。

※現在地から避難場所までのルートを表示したり、避難場所の住所などの詳細情報を確認したりすることができます。



3) 別冊:災害時緊急対応シートを作成する

緊急対応シート①	
※緊急時、緊急職員の方などに提供する情報について記載しましょう。	
氏名	連絡先 電話番号 Eメール
住所	
性別	年齢
職業	学歴
1. 障がい・状態等（身体障害者等）	現在の健康状態
2. 身体的障害等	○あり ○なし → 療養中 ○あり (A・B) ○なし
3. 家族構成	
4. 緊急時の対応	
5. 緊急時の連絡先	

『子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～』のシートを災害時用に改編しました。(P15) 個別避難計画の内容が組み込まれていますので支援者と一緒に作成しましょう。

まずは、医療的ケア児等コーディネーター（郡山市）等にご相談ください。

作成したシートは、緊急時にすぐに持ち出せるように、どこにどのように保管しておくのか、決めておきましょう。

支援機関に写しを渡しておくこともおすすめします。

入手方法

・市ウェブサイトよりダウンロード

URL <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/65/103410.html>

・郡山市障がい福祉課の窓口



4) 災害時の協力者を確保する

避難が必要な状況でも、家族だけでは避難が困難な場合があります。災害時に迅速なサポートを受けられやすくするためにも、平時から近所の人などにご本人の状況を伝えておき、協力を頼めるような関係づくりをしておくとい良いでしょう。また、「郡山市避難行動要支援者避難支援制度」に登録しておくことで、地域支援者（町内会、民生委員、自主防災組織など）に名簿が提供され、災害発生時に避難支援を受けられる可能性が高まります。

5) 避難場所・避難経路を確認する

避難所の確認

郡山市では災害発生時に最寄りの公共施設を中心に指定避難所を設置します。指定避難所での生活が困難な方（介護が必要な方、障がい者の方等）については、指定避難所で受付後に必要性を判断された方を対象に福祉避難所で受け入れを行います。最寄りの指定避難所への経路を、実際の移動手段を使って確認しておきましょう。

※指定避難所は見直しにより変更となる場合があります。また、災害の状況等に応じて、避難所を開設することとなりますので、開設状況については市防災ウェブサイト等で最新の情報を入手してください。

避難所以外の分散避難

- 安全な地域にいる親戚や友人などの家への避難
- 旅館・ホテルなどへの避難
- 安全な場所での車中避難
- 自宅の2階などへの垂直避難



要配慮者の避難

人工呼吸器等を装着している場合、危険が迫ることが予測できるときは、病院のソーシャルワーカー等に早めに相談しましょう。



ポイント

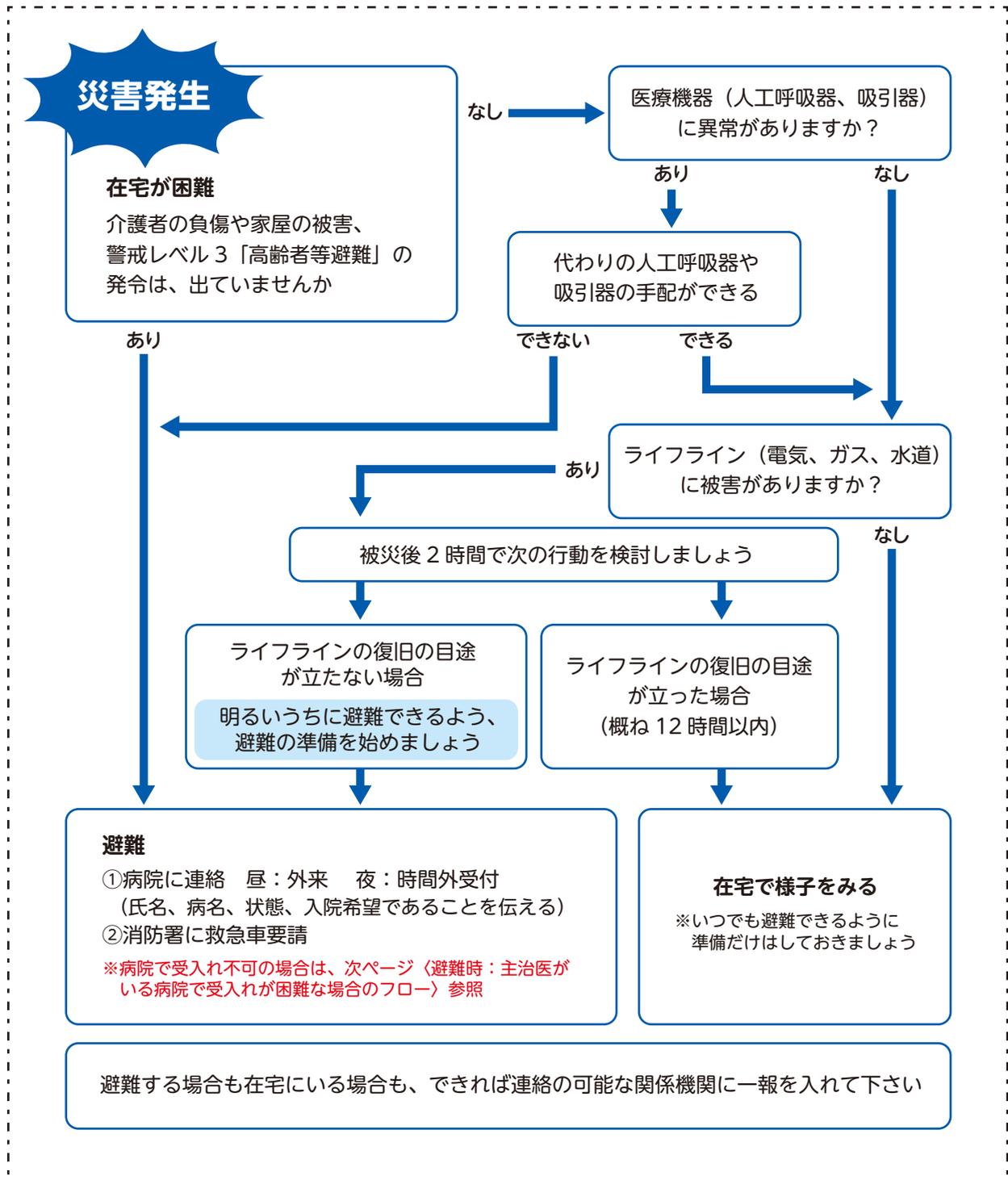
短期入所やレスパイト入院は、日頃から複数機関の利用を積極的に行い、災害時に受け入れ可能な機関を確保しておきましょう。

6) 災害発生時の判断について

※ライフライン（電気、ガス、水道）や使用中の医療機器に被害がなければ、在宅で様子を見る。

⇒被害が発生してから、2時間以内をめどに、避難行動等を考えましょう。

※明るいうちに次の行動にうつせるように準備し判断しましょう。

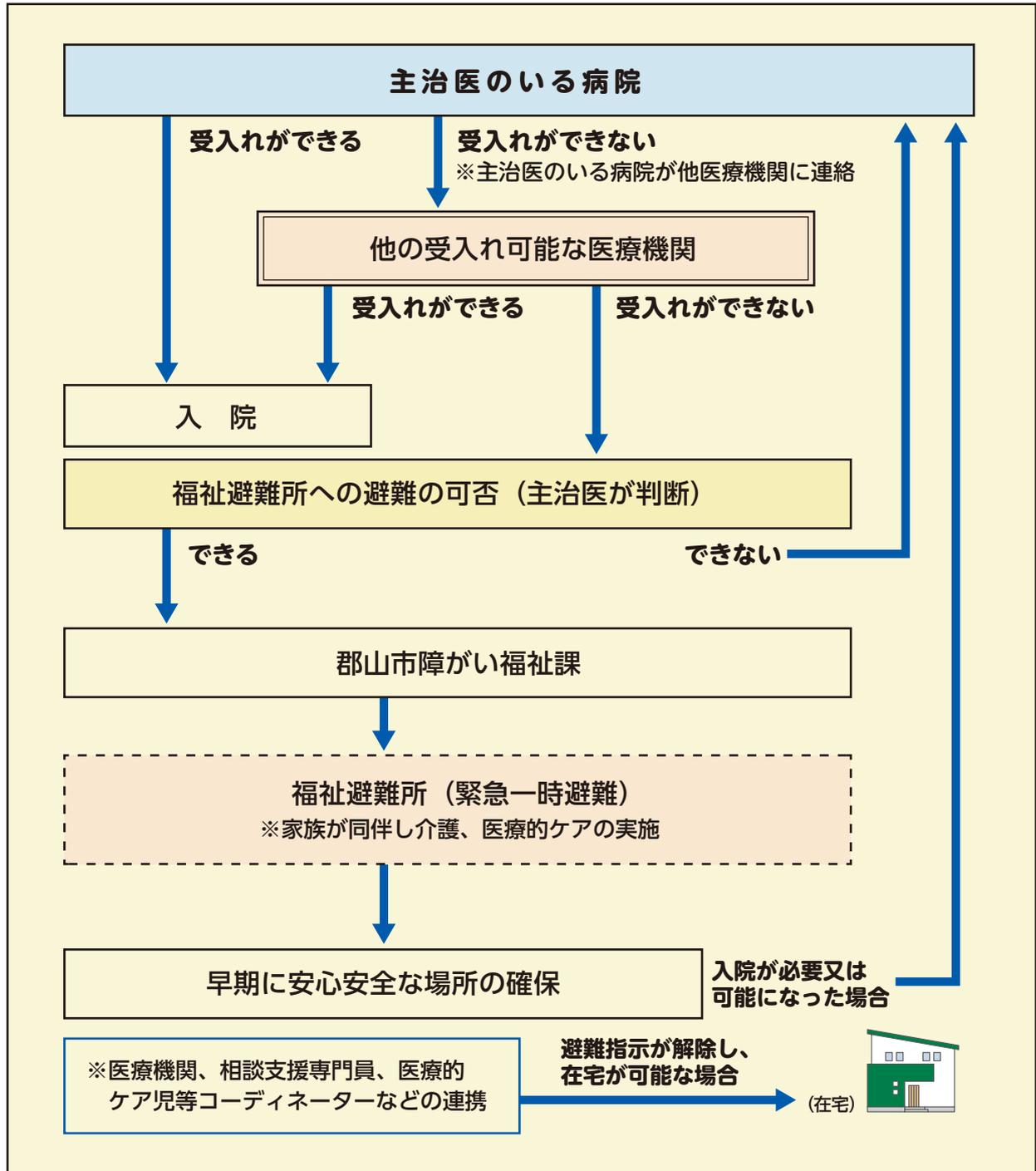


抜粋) 厚生労働省科学研究費補助金

難治性疾患克服研究事業「重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究」班

災害時難病患者支援計画策定検討ワーキンググループ資料（平成20年3月）改変

7) 避難時:主治医がいる病院で受入れが困難な場合のフロー (人工呼吸器等を装着している場合)



※ 医療的ケア児等医療情報共有システム (MEIS) の活用も考えましょう。

◆医療的ケア児等医療情報共有システム (MEIS)

事前登録制。

登録には主治医による入力が必要です。

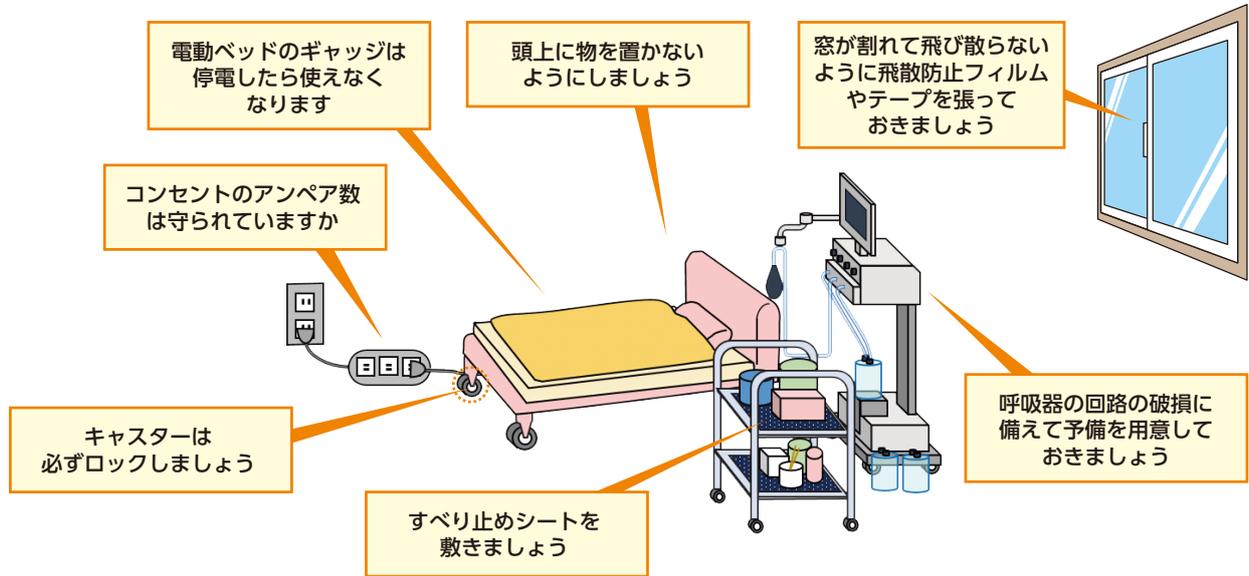
医療的ケアが必要な児童等が緊急時や予想外の災害、事故に遭遇した際に、全国の医師・医療機関 (特に救急医) が迅速に必要な患者情報を共有できるようにするためのシステムです。

URL https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_09309.html



8) 室内の環境を整える

医療的ケアを必要とする方が過ごす部屋の環境を整えておきましょう。転倒防止対策をすることで、ケガだけでなく機材の破損防止にも役立ちます。また、家具の転倒で部屋の入口が塞がれてしまい、家族が本人のものとへ駆けつけることができなくならないよう、家具の配置にも気を付けましょう。



9) 緊急時の連絡先を確認しておく

災害時には、携帯電話や固定電話、公衆電話はつながりにくくなることがあります。電話以外の方法での連絡手段、連絡すべき相手をあらかじめ考えておきましょう。災害時には、主治医や訪問看護ステーション、医療機器取扱業者等に安否、どこで・どんな状況にあり、何が必要なのかを伝えましょう。災害時緊急対応シート等に、連絡方法・連絡先を記入しておくといよいでしょう。

- 災害時でも利用しやすい連絡方法
 - ・ E-mail
 - ・ メッセージアプリ (LINE 等)
 - ・ SMS (ショートメールサービス)
- 安否確認に有効な方法
 - ・ 災害用伝言ダイヤル (171)
 - ・ 携帯電話の位置情報アプリ

Ⅱ 医療的ケア児に必要な備え

ライフラインの復旧に時間がかかる場合に備えて、最低でも7日分の用品を備えておきましょう。(P19・P20) あらかじめ用意できる物がある場合は、災害時にどこで手に入るかを主治医等に確認しておきましょう。また、自宅が被災する場合に備えて、自宅以外の場所にも用品を保管しておけるとよいでしょう。

1) 人工呼吸器を使用している医療的ケア児への備え

- ① まず、人工呼吸器は地震の際に転倒しないようにしっかり固定しておきましょう。
- ② 生命維持のために、日常的に電気が必用であることを電気会社にあらかじめ伝えておくことが大切です。
- ③ 内部バッテリーと付属する外部バッテリーがあれば、対応時間を調べておきましょう。内部バッテリーと外部バッテリーの合計が8時間を目標とします。また、バッテリーは経年的に持続時間が短くなりますので、業者の方によく相談してください。

停電時に電源を確保するためにも、外部バッテリーへの接続ができるように備えておきましょう。また、平時から定期的に充電を心がけておきましょう。

※フル充電で何時間使用できるか確認しておきましょう。交換時期は2年が目安です。

- ④ 人工呼吸器が停止した際は、アンビューバックによる人工呼吸が必要になることがあります。アンビューバックの点検と使用法を習熟しておきましょう。いつでも使用できるようにすぐに手の届く場所に用意しておきましょう。手動で使用するため、長時間使用するには交代で押し続ける必要があります。できれば家族みんなが使用できるようにしておきましょう。
- ⑤ 機器の破損に備えて、予備の呼吸回路を一式用意しておきましょう。
- ⑥ 停電で一旦停止した人工呼吸器は電源復旧時に設定が変わっている可能性がありますので、通常使用時の設定にもどすことができるようにしておきましょう。

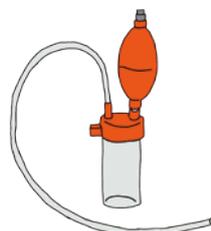
2) たんの吸引が必要な医療的ケア児への備え

- ① 吸引器に内部バッテリーがあるかを確認します。
内部バッテリーがある場合は、充電を心がけ、持続時間をあらかじめ確認しておきましょう。内部バッテリーがないものは、外部電源を準備するか、電気を使用しない吸引器を準備しておく必要があります。
- ② 平常時の吸引回数を考慮し、3日分の予備の吸引チューブを用意しておきましょう。
- ③ 電気を使用しない吸引器

・シリンジ+吸引カテーテル



・手動式吸引器



・足踏み式吸引器



3) 酸素療法が必要な医療的ケア児への備え

- ① 酸素濃縮器に内部バッテリーがあるかを確認しましょう。内部バッテリーがある場合は、持続時間をあらかじめ確認しておきましょう。
- ② 携帯用酸素ボンベがいつでも使用できるかを確認しておきましょう。予備のカニューレや延長チューブを一緒にまとめておきましょう。
携帯ボンベのつなぎ方や必要物品を前もって確認し、習熟しておきましょう。
酸素流量によって使用時間が変わりますので、対応時間を把握しておきましょう。
在宅で主流の300Lタイプで満充填されていた場合、0.5L/分の使用で約10時間です。
酸素ボンベの残量はこまめにチェックしておきましょう。

容量	充填量	使用例	1L/分で使用
1.0L	150L	持ち運び用	2時間30分弱
2.0L	300L	在宅で普及しているタイプ	5時間弱
3.4L	500L	医療機関にある携帯用	8時間弱

- ③ 酸素ボンベは、いざという時にすぐに使える場所にしっかり固定して設置しておきましょう。
- ④ 酸素取扱業者の中には、地震の際に利用者の安否を確認するシステムを作っているところもありますので、業者に確認しておきましょう。また、災害時の対応（酸素ボンベの搬入など）について確認しておきましょう。

4) 経管栄養が必要な医療的ケア児への備え

断水により水の確保が困難になることが想定されます。経管栄養剤に合わせてお湯や経管注入用等の水を用意しておきましょう。使用期限を定期的確認しておきましょう。



5) 非常用持出品の準備など

生活必需品は最低3日分を準備しましょう。(P17)



ポイント

必要なものは人によって違います。家族や関係者と持ち物を確認しましょう！

- ・防水素材のリュックに入れておくと、避難時に両手が使えて便利です。
- ・キャスター付きのスーツケースは運びやすいです。
- ・目に付くところにおいておきましょう。(避難に必要な物をベッド脇にまとめておきましょう)
- ・忘れがちなものに三又プラグ、S字フックがあります。

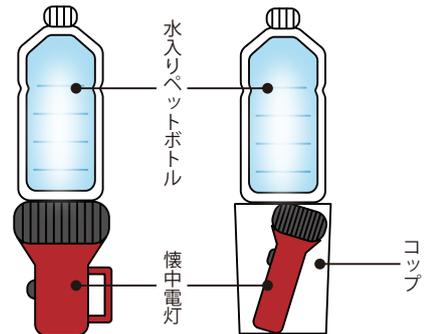
備えておくと便利なもの

<照明について>

- ◎LED ランタン (可能であれば部屋数分) :
電池タイプと充電タイプがあります。



- ・懐中電灯:
懐中電灯を固定して、その上に水を入れたビニール袋やペットボトルを置くことで、灯を拡散させることができます。



警視庁のホームページなどを基に作成

- ・フットライト:
人感センサーフットライトなどをつけておくと便利です。

- ・ヘッドライト:
両手が空くのでサクションなど医療的ケア行為にも安心です。
別の部屋に移動する際にも便利です。



<避難用担架について>

- ・メーカーによって様々なタイプがあります。1人介助用、2人介助用、携帯用、防水の物など…お子さんの状況、ご自宅の状況に応じて、選びましょう。

Ⅲ 停電時の対応について

1) 停電が起こった時の対応を確認しておく

医療的ケアが必要な方にとって、停電により医療機器の電源が確保できないことは、生命の維持に支障をきたす大問題です。停電が長時間続いた場合に、どのように電源を確保するのかを考えて、準備しておきましょう。(P11 へ)

停電したことを想定して動いてみる

普段使用している医療機器や家電製品が停電時にどう作動するのかを知り、対処を知りましょう。(例：停電するとアラームが作動することやその止め方など)

電気を使わずにできることをあらかじめ考えて、練習しておきましょう。



ポイント

備えておくことはとても大切です。ただし、実際に停電が起きて危機を感じた場合は、頑張りすぎずに周りの人たちに助けを求めましょう。

2) 停電について

工事に伴う停電（計画的な停電）と突発的な設備故障等による停電があります。突然停電したら…

- ① まずは、自宅内分電盤のブレーカーが下がっていないかを確認する。「ブレーカーは下がっていない」「周辺も停電している」などの際は、電話もしくはチャットで知らせる。

★問合せ先 東北電力ネットワーク株式会社 ネットワークコールセンター
☎0120-175-366 24時間対応
チャット <https://tohoku-nw.support-navi.jp/t01/agree-1>



大規模な停電が発生した場合、停電状況を確認する

★東北電力ネットワーク株式会社ホームページ 停電情報
<https://nw.tohoku-epco.co.jp/teideninfo/>



★停電情報アプリ（無料）

iPhone



Android



- ② 家中全部（もしくは一部）が消えた。近所の家はついている。

⇒分電盤のブレーカーのつまみも状況を調べてみましょう。

※近所も消えているときは東北電力ネットワーク株式会社ホームページの停電情報を確認する。

つまみが「入」のままの場合は東北電力ネットワーク株式会社コールセンターに連絡する。

つまみが「切」になっている場合は使用中の電気機器のコンセントを抜いてから操作を行う。

再び「切」になる（電気がつかない）ときは東北電力ネットワーク株式会社ネットワークコールセンターに連絡する。

Ⅳ 電源確保について

1) 停電時の電源確保

医療機器の消費電力は機種によって異なりますが、以下が目安となります。

人工呼吸器：200w程度 + 酸素濃縮器：150w程度 + 加温加湿器：300w程度
合計 650w 程度が必要

※輸液注入ポンプが必要な場合は、さらに電力が必要となります。

※状態や状況によりますが、電気の消費量の多い加温加湿器を人工鼻に変えることができれば電力が節約できますので、事前に主治医と相談しておきましょう。

(参考：湯沸し器 1000w、冷蔵庫 280～400w、テレビ 100w、冷暖房 200～500w)

2) 医療機器以外の電源

医療が必要なお子さんは体温調整が苦手な子が多いです。夏や冬では状態に大きな影響がでるため、エアコン、扇風機が止まり、療養環境の調整の方が緊急を要する可能性もあります。災害状況に合わせた複数の避難先候補の選定が必要です。

ベッド、エアマット、その他、電力を利用する移動用リフトなどをお持ちの方は、平常時に一度、停電時の措置について取り扱い説明書等を確認することをお勧めします。

3) 緊急時に電源を確保する方法をしておく

(1) 外部バッテリー

ご使用の医療機器専用の外部バッテリーを用意しましょう。停電が長時間におよぶ可能性を考慮し、複数個のバッテリーを準備しておくことで安心です。必ず、メーカー正規品または医療用の非常用携帯バッテリーをご用意ください。バッテリーは経年劣化します。劣化により、充電時間が長くなったり供給できる時間が短くなったりすることがあります。メーカーの保証期間を確認しておきましょう。

(2) UPS(無停電装置)

常時接続しておくことにより、電源が切断された場合でも、接続されている機器に対して、一定時間電力を供給し続ける装置です。停電直後の人工呼吸器等の停止を予防するためにUPSを接続しておけば、停電が起こると、瞬時に自動でUPSからの外部電気供給に切り替わり、機器が突然停止することを防ぐことができます。※自動的に外部電源と切り替わる機能のある医療機器もあります。

(3) 蓄電池

蓄電池を平常時に充電しておくことで非常時の電源として使用できます。医療機器を使用する本人や介助者が使用・運搬可能な、正弦波交流出力のものを選ぶようにしましょう。購入する他にレンタルという方法もあります。

(4) 車から電源をとる

自動車から電源をとる方法は、車種によって異なりますのでご自宅の車の場合はどの方法が該当するのか、確認しておきましょう。また、平時からの車の保管場所に留意しましょう（大雨時に水没しないか、地震で下敷きにならないか等）。災害時における電気自動車の活用促進については、国土交通省、経済産業省などの情報も御参照ください。

① シガーソケット（アクセサリソケット）から電源をとる

一般的な車のシガーソケットは DC（直流）であり、電化製品の多くは AC（交流）に変換する必要があります。インバーターを人工呼吸器等の医療機器などに使用する際は、必ず「正弦波」のものを使用してください。また、エンジン駆動時は電流が乱れて故障の原因になりますので、必ず先にエンジンを駆動させてから機械につながるようにしましょう。また、多くの車から供給されている電気は 12V で、充電に使用する際には長時間を要します。充電に要する時間も事前にメーカーにお問い合わせください。長時間の接続でコードなどが熱を持つこともありますので、火災の発生等に十分注意をしてください。

② 100V コンセントから電源をとる

ハイブリット車、電気自動車、プラグインハイブリッド車（PHEV）は、従来のガソリン車と比較して、非常に大型のバッテリーを搭載しています。車種によっては、100V コンセントが車内にあり、車のバッテリーを大型蓄電池として利用できる場合があります。ハイブリッド車は、エンジンをかけてアイドリング状態で、電気自動車や PHEV では、エンジンをかけずにモード調整や電源 OFF にするなど電気を取り出せます。

③ 充電専用の USB 端子から電源をとる

USB ポートにカーインバーターを接続し、コンセントを造設するなどして電源をとることができます。USB ポートの定格出力が、医療機器の消費電力を上回っているか、必ず確認してください。

④ Vehicle to Home（V2H）機器を用いて車に備えていた電気から電源をとる

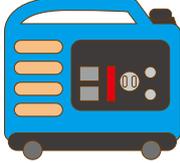
V2H 機器と V2H 対応の電気自動車を整備することで、車から家に電気を供給することができます。また、大容量の太陽光発電があれば、昼間に車のバッテリー充電と、生活のための電気が確保できます。

しかし、車と家の設備を整備するために多額の費用が必要です。

(5) 自家用発電機

発電機を人工呼吸器などの精密機器に使用することはどのメーカーも推奨していません。発電機の購入を検討する際は、必ず主治医や医療機器取り扱い業者に相談し、外部バッテリー等の充電用に必要となる場合は、医療機器を使用する本人や介助者が使用・運搬可能な正弦波インバーター発電機を選ぶようにしましょう。代表的なものとしてガソリンタイプとカセットボンベタイプがあります。発電性能が上がれば、発電機は大きくなり価格も上がります。また、発電機は必ず屋外で使用します。使用時の音が大きいため、使用の際はご近所からの理解が得られるよう、事前に事情を伝えておけると良いでしょう。

発電機のタイプ

	メリット	デメリット	価格目安・備考
カセット ボンベタイプ 	家庭用カセット ボンベ2本で作動させるので、入手と保管が ガソリンと 比べると手軽 (2本で2時間駆動)	気温が低いと (5℃以下) うまく機能しない ことがある	10万円ほど、 家族向け 
ガソリン タイプ 	駆動時間が長い。 ガソリン 2.1L で 3.5 ~ 7時間ほど (900W の タイプ) 使用可能	メンテナンス (3か月~6か月に一度 エンジンオイル交換) が必要。 ガソリンの保管と 定期的な交換が必要	15万~40万ほど、 事業所等向け 

※ガソリンを自宅で使用する際の注意点

ガソリンを自宅で保管することは大変危険です。ガソリンは、消防法上の危険物に該当し、指定数量(200リットル)の2分の1以上指定数量未満の量(100リットル以上200リットル未満)の危険物を貯蔵または取り扱う際には、郡山地方広域消防組合に届け出をしなければなりません。

また、指定数量の5分の1以上の量(40リットル以上)の危険物を貯蔵または取り扱う時には、消火設備や空き地の確保、建築設備の制限などが必要となりますので注意しましょう。

- ・必ず専用の携行缶に保管する
- ・通気性の良い屋外の物置などに置く
- ・最低でも3か月に1回は入れ替えをする
- ・自動車のタンクからガソリンを取り出す場合は自動車のガソリンを半分以上入れておく

V 非常用電源等購入費の助成について

日常生活用具で助成があります。事前申請が必要ですので、購入前に障がい福祉課（☎024-924-2381）まで、ご相談ください。

※自己負担額

基準額までは原則1割負担です。ただし、収入等に応じて上限額が設定されています。

【種目】①発電機

②ポータブル電源（蓄電池等）

③カーインバーター

※いずれか1種目の給付

【対象者】

呼吸機能障害者等で、人工呼吸器、吸引器又は吸入器を利用し、かつ常時介護を必要とするもの（日常生活上必要と認められる者に限る。）で、医師が必要と認めるもの
難病患者等で、その疾患が起因となり上記の医療機器を利用し、かつ常時介護を必要とするもので、医師が必要と認めるもの

① 発電機

【性 能】 ガソリン、ガスボンベ等で作動する正弦波インバーター発電機であって、定格出力が850VA以上であるもので、障害者等又は介助者が容易に使用できるもの

【耐用年数】 10年

【基準額】 100,000円

② ポータブル電源（蓄電池等）

【性 能】 蓄電機能を有する正弦波交流出力のポータブル電源であって、定格出力が300W以上であるもので、障害者等又は介助者が容易に使用又は運搬できるもの

【耐用年数】 5年

【基準額】 62,000円

③ カーインバーター

【性 能】 自動車用バッテリー等の直流電流（DC）を正弦波交流電流（AC）に変換する装置であって、定格出力が300W以上であるもので、障害者等又は介助者が容易に使用できるもの

【耐用年数】 5年

【基準額】 30,000円

Ⅵ 参考資料

ここからは、災害時緊急対応シートについて掲載します。
市ウェブサイトよりダウンロードできます。

URL <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/65/103410.html>



1) 災害時緊急対応シート①

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

緊急対応シート①

※緊急時、救急隊員の方などに提供する情報について記載しましょう。

フリガナ			連絡先	固定電話	
氏名				携帯電話	
				メールアドレス	
住所					
生年月日		血液型	型 (+ -)	平熱	°C
酸素飽和度 (平常時)	%	心拍数 (平常時)	回/分	血圧 (平常時)	/ mm Hg
1 障がい・疾病名 (合併症を含む)・現在の健康状態					
・身体障害者手帳： <input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし ・療育手帳： <input type="checkbox"/> あり (A・B) <input type="checkbox"/> なし					
2 医療的ケア： <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
<input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 吸入・ネブライザー <input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> カニューレ <input type="checkbox"/> 人工呼吸器 (<input type="checkbox"/> 気管切開 <input type="checkbox"/> マスク) <input type="checkbox"/> 咽頭エアウェイ <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 <input type="checkbox"/> 経管栄養 (<input type="checkbox"/> 経鼻 <input type="checkbox"/> 胃ろう <input type="checkbox"/> 腸ろう) <input type="checkbox"/> 透析 <input type="checkbox"/> 人工肛門 <input type="checkbox"/> 導尿 <input type="checkbox"/> インスリン注射 <input type="checkbox"/> 浣腸 <input type="checkbox"/> てんかん発作時の座薬挿入					
3 配慮しなくてはならない事項 (災害時等)					
<input type="checkbox"/> 立つことや歩行が困難 (<input type="checkbox"/> 寝たきり) <input type="checkbox"/> 移動 (歩行・車いす・ストレッチャー・他 _____) <input type="checkbox"/> 音が聞こえない (聞き取りにくい) <input type="checkbox"/> 物が見えない (見えにくい) <input type="checkbox"/> 言葉や文字の理解がむずかしい <input type="checkbox"/> 危険なことが判断できない <input type="checkbox"/> その他 ()					
4 緊急時の対応					
(1) 予測される緊急の状態 (てんかん発作、心臓発作、シャントづまり、呼吸困難、意識障害、激しい頭痛など)					
記入例) 発作の前兆として、頭痛を訴える。発作時は、意識が低下し、全身けいれんが20秒ほど続く。					
(2) 保護者への連絡、医療機関への搬送の基準					
記入例) 全身発作が1分続くか、1分以内に発作が10回以上ある場合、保護者などへ連絡し、下記の病院へ搬送する。それ以外の小さな発作は、様子を見る。					
(3) 病院搬送までに行う具体的対応					
記入例) 発作時は意識が低下するので、横にさせるか本人が楽な姿勢をとらせる。(2)の状況で医療機関に搬送する。					
5 緊急時の家族等の連絡先					
①	フリガナ		固定電話		
	氏名		携帯電話		
	住所		本人との関係性		
②	フリガナ		固定電話		
	氏名		携帯電話		
	住所		本人との関係性		

2) 災害時緊急対応シート②

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

緊急対応シート②

※緊急時、救急隊員の方などに提供する情報について記載しましょう。

6 搬送病院・医師の指定希望 有 ()→下枠に記入する。/無 ()→救助者の判断に一任する。			
優先順位	医療機関名	診療科目	医師名
①	TEL		
②	TEL		
③	TEL		
7 現在内服している薬、アレルギーやその他注意事項			
8 その他の留意点			

○ 緊急対応シートの使い方

- ・緊急対応シートについては、お子さんの体調の悪化など、緊急時の対応の指針になるものです。緊急対応シートについては、サポートブックとは別に印刷するなどして、必要に応じて複数準備しましょう。
- ・お子さんが普段活動する場所（学校や事業所等）の職員の方などにお渡しして、日頃から確認していただくことをおすすめします。
- ・外出先などで必要になることも考えられますので、お子さんが普段から持ち歩く荷物の中に緊急対応シートを入れておくことも有効です。
- ・災害時には、次のページの【災害時の補足情報】について事前にまとめておいて、必要に応じて支援者や救急隊員などに提供することも有効です。
- ・お住まいの地区のハザードマップの情報も事前に確認しましょう。

3) 災害時緊急対応シート③

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

緊急対応シート③(災害時の補足情報)

○避難所の場所					
①	名称	TEL	住所		
②	名称	TEL	住所		
○避難の手段(移動方法)					
○町内会名			○民生委員		
○家族構成 (本人含む)		人	居住建物の構造	____階建ての____階 エレベーター： 有・無	普段いる場所 寝室の位置
○避難を支援する人					
1	フリガナ			固定電話	
	氏名			携帯電話	
	住所			本人との関係性	
2	フリガナ			固定電話	
	氏名			携帯電話	
	住所			本人との関係性	
○自宅から避難所までの避難経路					
○災害時に必要な持ち物					
<input type="checkbox"/> 医療機器、医療的ケア用品一式 (※医療的ケア・災害時持ち物チェックリスト①②参照)					
<input type="checkbox"/> 子育てサポートブック(いけあキッズ郡山ver)					
<input type="checkbox"/> 携帯電話と充電器					
<input type="checkbox"/> 飲料水や非常食					
<input type="checkbox"/> 眼鏡(コンタクトレンズ)					
<input type="checkbox"/> その他(例：懐中電灯、防災ラジオ、非常用電源等)					
<input type="checkbox"/> 身分証明書(マイナンバーカード、免許証等)					
<input type="checkbox"/> 健康保険証、医療機関の診察券					
<input type="checkbox"/> 貴重品(現金・通帳・印鑑等)					
<input type="checkbox"/> 救急用具(普段飲む薬・お薬手帳等)					
<input type="checkbox"/> 衣類(下着・靴下・防寒着等)					

4) 災害時緊急対応シート④

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

緊急対応シート④(災害時の補足情報)

○医療機器関連情報（人工呼吸器、酸素吸入器など）			
	(機器の種類、種類、型番等)		
①	(使用上の注意点等)		
	(メーカー等の名称、連絡先)		
	(機器の種類、種類、型番等)		
②	(使用上の注意点等)		
	(メーカー等の名称、連絡先)		
	(機器の種類、種類、型番等)		
③	(使用上の注意点等)		
	(メーカー等の名称、連絡先)		
	(機器の種類、種類、型番等)		
④	(使用上の注意点等)		
	(メーカー等の名称、連絡先)		
	(機器の種類、種類、型番等)		
⑤	(使用上の注意点等)		
	(メーカー等の名称、連絡先)		
○避難先での留意事項（該当するものに☑）			
	<input type="checkbox"/> 常に介助が必要（ <input type="checkbox"/> 食事 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 移動 <input type="checkbox"/> コミュニケーション）		
	<input type="checkbox"/> 一部で介助が必要（内容： _____ ）		
	<input type="checkbox"/> 特に介助の必要はない		
	<input type="checkbox"/> その他		
	{ _____ }		
○災害対応関連の連絡先（電力会社、訪問看護ステーション、相談員、通所施設等）			
①	名称	連絡先	
②	名称	連絡先	
③	名称	連絡先	
④	名称	連絡先	
⑤	名称	連絡先	

5) 医療的ケア・災害時持ち物チェックリスト①

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

医療的ケア・災害時持ち物チェックリスト①

有・無	医療的ケア	持ち物チェック	数
<input type="checkbox"/>	吸引 気管内：() Fr 口・鼻：() Fr	<input type="checkbox"/> 吸引器 <input type="checkbox"/> 吸引チューブ <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	吸入・ネプライザー 使用薬剤： _____ ml (生食 _____ ml) 回数： _____ 回/日・必要時適宜	<input type="checkbox"/> 吸入器 <input type="checkbox"/> 薬剤 <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	気管切開 カニューレ：種類・サイズ 交換間隔： _____ に1回 () ※最終交換日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 Y ガーゼ交換 (使用枚数) _____ 枚	<input type="checkbox"/> 予備気管カニューレ <input type="checkbox"/> カニューレ固定紐 <input type="checkbox"/> Y字ガーゼ <input type="checkbox"/> 人工鼻 <input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> 軟膏	() () () () () ()
<input type="checkbox"/>	人工呼吸器 (気管切開・マスク) メーカー・タイプ： 換気モード：IMV・IMV/CPAP 換気回数： _____ 回/分 1回換気量： _____ ml 吸気圧・吸気時間： 圧サポート： _____ PEEP： 加湿器設定温度： _____ °C ※呼吸器回路の最終交換日： _____ 年 _____ 月 _____ 日	<input type="checkbox"/> 回路一式 <input type="checkbox"/> 延長コード・三叉プラグ <input type="checkbox"/> モニター <input type="checkbox"/> パルスオキシメーター <input type="checkbox"/> 加温加湿器 <input type="checkbox"/> 滅菌水・精製水 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () () () () ()
<input type="checkbox"/>	咽頭エアウェイ カニューレ：種類・サイズ	<input type="checkbox"/> 予備カニューレ () <input type="checkbox"/> 固定テープ	() ()
<input type="checkbox"/>	酸素吸入 使用物品：呼吸器併用・マスク・カヌラ 流量： _____ L/分 使用時間：24時間・入眠時のみ・ その他 ()	<input type="checkbox"/> 酸素ボンベ、ボンベカート <input type="checkbox"/> 酸素濃縮器 <input type="checkbox"/> 酸素チューブ・マスク <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () () ()
<input type="checkbox"/>	中心静脈栄養 使用薬剤： _____ ml 回数： _____ 回/日 () 速度 _____ ml/h	<input type="checkbox"/> 薬剤 <input type="checkbox"/> 静脈栄養セット <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	経管栄養 (経鼻・胃ろう・腸ろう) チューブ (種類・サイズ)： 挿入の長さ： _____ cm 交換間隔： _____ に1回 () 瘻孔の処置：有・無 栄養剤： 回数： _____ 回/日 ()	<input type="checkbox"/> 経鼻経管チューブ <input type="checkbox"/> 栄養剤 <input type="checkbox"/> 経管栄養セット <input type="checkbox"/> 計量カップ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () () () () ()

6) 医療的ケア・災害時持ち物チェックリスト②

「子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山ver～」より抜粋

医療的ケア・災害時持ち物チェックリスト②

有・無	医療的ケア	持ち物チェック (数)	数
<input type="checkbox"/>	透析 処置・方法:	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	人工肛門 処置・方法:	<input type="checkbox"/> ストーマ装具・パウチ・型紙 <input type="checkbox"/> 皮膚保護材・剥離剤 <input type="checkbox"/> ハサミ・ゴミ袋 等	() () ()
<input type="checkbox"/>	導尿 導尿カテーテル: () Fr 導尿回数: 回/日 (, , , ,)	<input type="checkbox"/> 導尿カテーテル <input type="checkbox"/> キシロカインゼリー <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () ()
<input type="checkbox"/>	膀胱ろう 処置 (消毒液): 方法:	<input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	インスリン注射 時間・単位: 消毒液:	<input type="checkbox"/> インスリン注射器 <input type="checkbox"/> 注射液 <input type="checkbox"/> アルコール綿 (消毒綿)	() () ()
<input type="checkbox"/>	浣腸 薬品名・量: (1回量:) 回数: 回/日	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	けいれん発作時の座薬挿入 薬品名・量: (1回量:) 実施の目安:	<input type="checkbox"/> 座薬 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () ()
<input type="checkbox"/>	発熱時の対応 薬品名・量: (1回量:) 実施の目安:	<input type="checkbox"/> 座薬 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () ()
<input type="checkbox"/>	非常用電源 シガーソケット対応インバーター 発電機 蓄電池 UPS (無停電電源装置) 燃料 (カセットボンベ・ガソリン)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () () () ()
<input type="checkbox"/>	その他 子育てサポートブック～いけあキッズ 郡山 ver～ 内用薬 () 外用薬 () お薬手帳 おむつ 着替え	<input type="checkbox"/> 子育てサポートブック <input type="checkbox"/> 内用薬 <input type="checkbox"/> 外用薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	() () () () () () () ()

参考・引用文献

- ・つくば市 福祉部 障害福祉課 「災害時対応ガイドブック」
～在宅で医療的ケアを必要とする方用～
- ・三重県小児科医会 小児在宅検討委員会 周産期委員会
「災害時対応ノート」作成のための小児在宅医療的ケア児
災害時対応マニュアル
- ・医療法人稲生会 災害対策委員会作成 【医療法人稲生会】
医療的ケア児等の停電時の電源確保について
- ・国立研究開発法人国立成育医療研究センター 医療連携・
患者支援センター在宅医療支援室「医療機器が必要な子ども
のための災害対応マニュアル～電源確保を中心に～」

令和6(2024)年3月発行

発行・編集:郡山市保健福祉部障がい福祉課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号

電話 024-924-2381 FAX 024-933-2290



この印刷物は、古紙/パルプ配合率60%以上再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。
この印刷物は印刷用の紙へリサイクルできます。